

ATTACK ON KİYOTAN

KIYOSUMI PRESENTS

ADULT ONLY



ジャンは
アルミンが
助けたので
無事です

みんな
街の外に
脱出しました

お前も脱出しろ
あとで行く

そんな
ひとりてなんて
無茶です

態勢を
立て直してから



そんな余裕は
ないっ!!

兵長!!



なんとしても
取り戻す



エレンとヒストリアの奪還作戦は
ケニー率いる中央憲兵達に阻まれる

リヴァイ班は追撃を退けつつ
街からの脱出を図る

しかしジヤンに銃口が突きつけられた時
調査兵団は団員をひとり
失ってしまった



い
あ
あ

や
め
ろ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

く
っ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ



お前ひとり
勝つてると
思ってたのか？

これだけの
憲兵相手に

おいおい
そんなにい
暴れるなよ

リヴァイ



お前にしては
冷静さを
欠いていたな

それとも

アッ

アッ



ケニー…



そんなに
大事か…？

兵…長…



この女が

うっ



アツカーマン？



……クク

クツクツク



なにが
おかし



ストレトス区出身

104期生

ミカサ



ミカサ

……



おいこの女の
所持品を
もってこい

はい



そうだったな
お前は知らない
んだったな

クク……

血がそうさせるのか
お前がこの女に
惹かれる理由も
わからんではないな



ミカサ

なあ……お前も
常人離れした
力が出せるのか？

聞いても無駄だぜ
俺が話すと思うか？

なにを
言つてやがる



野獣
なんだよ

あれは
獣の血だ

あっ

ワッ

アッカーマンは

あああああ
あああああ
あああああ

激しくされても
気持ちいいんだろ？



アッカーマンの
女は体質的に
感じやすい

あああ
あああ
あああ

ほらほら
もつと叫べ
獣のように



ケニー

もうやめろ

あああ
あああ
あああ



わかったか?

わんっ

わんっ

お前は
本能のまま
快楽に溺れる

淫獣
なんだよ

わんっ
あはあ
あはあ



わんっ

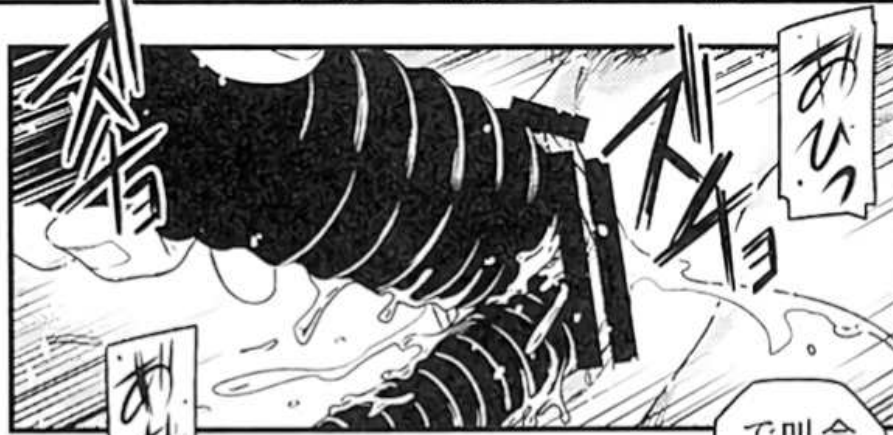
遊んでいいぞ

あとは
好きなように

わんっ

よしお前ら
扱いは
分かったな

わんっ



今のお前には
叫ぶことしか
できねえもんな



ざまあねえな
リヴァイ

あ

あ



ああ…

ほら休んでんじや
ねえよ



っ!!

私のマフラーに
汚い手で触るな



ああ?!

やつ



ほら
もつとイけ!!

もつとイけよ!!

こいつマジ
全身性感帯じやん



どんな刺激も
快楽に感じるとは
なんて淫乱なんだよ

こいつ
また
イってるぞ

あーあ
あーあ

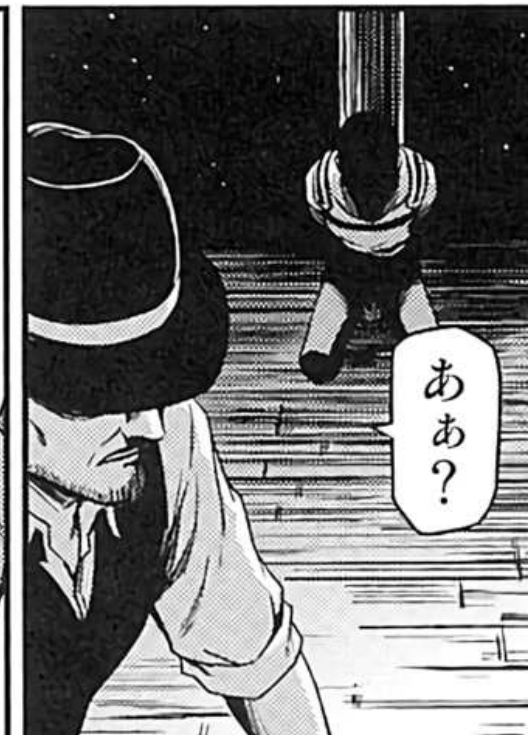


こんなに乳首
尖らせて
なに息巻いて
んだよ?

ああ
ああ
ああ



何が言いてえ
んだ…チビ助



あんたと暮らしたのは
短い期間だったが



頼む…



俺はどうなってもいい…

ミカサだけは助けてやってくれ



はっ



はははっ

あのリヴァイがまさか

俺に頭を下げやがった!!



なんの冗談だ
とち狂ったのか

いい加減にしろよ

うぐっ

っ!?



この世は
力のあるものが
すべてを手に入れる

兵長っ!!

教えたはずだ

今のお前には
それが無い

力がなけりや
愛する女も
守れない



やめて!!

兵長が
死んじやう



命を賭せば
守れるとでも
思ったのか?

この世界は
そんな単純には
できてねえんだよ...

がはっ

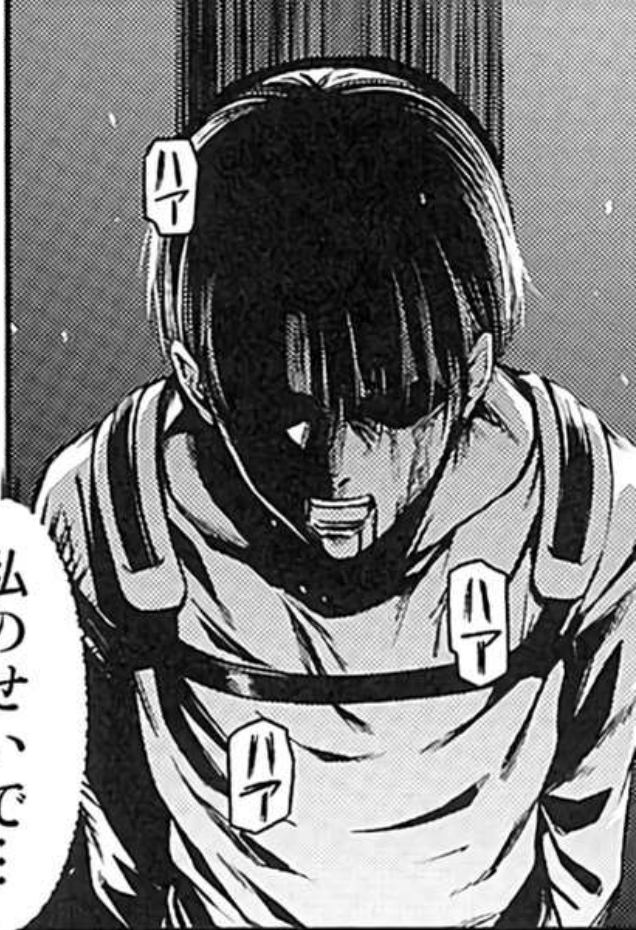
うっ





へいちよ……う……

私のせいで……



できません



そんな……
こと



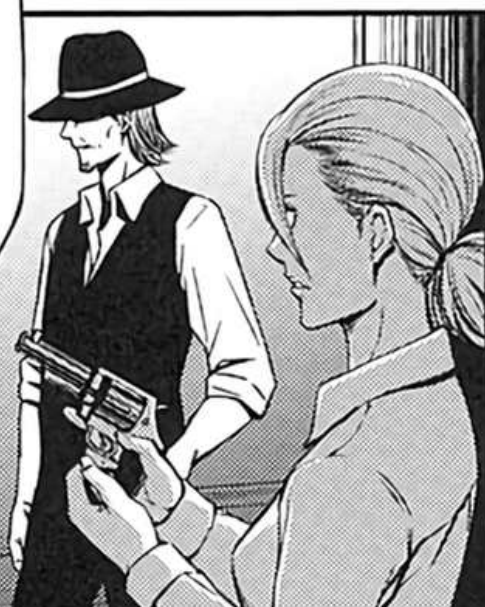
ミカサ……

俺にかまうな
自分が生き残る
努力だけしろ……



これは
命令だ

妙な行動をしたら
おまえの判断で
引金を引け



おいな!!
来るな!!

はい





どんな気分だ
リヴァイ:

助けにきたのに
逆に守られるってのは

くっ

うっ

好きな女がここまで
してくれてるんだ

冥土の土産に
たっぶり
味わっておけよ





もう...よせつ

くっ
ミカサつ



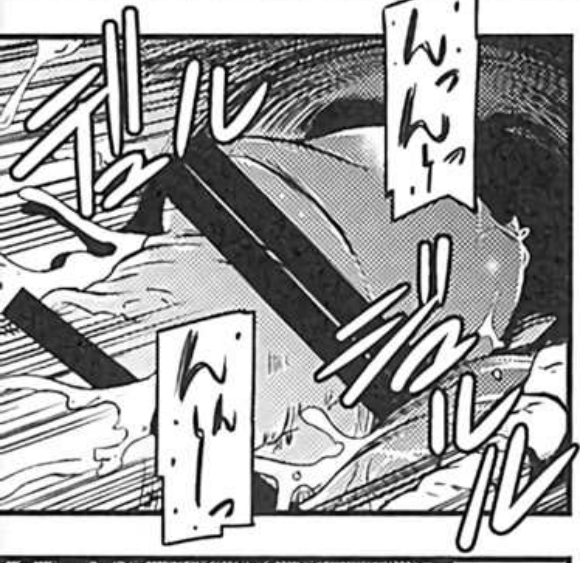
おっ

兵長様が
そろそろ
いきそうだぞ?



ほら
ちやんと舌も
使ってやれよ

下手な芝居で
時間稼ぎなんか
したら
即刻殺すからな



んんん



手伝ってやる



ぐっ

っ!!



ちやんと溢さず
飲んでやれよ



不様だな
……



終わりじゃない

まだ……



苦しいなら
そんなクソガキ
見捨てたらどうだ

どうした

さすがに何度も
イカされた後だと
きついのか……?

ハア

ハア

ハア





くっ
あまり動くな
ミカサ

すっ
すいません

でも…凄く気持ち
よくて…あつ

こんな時
なのに

私が…気持ちよく
してあげないと

いけない
のに…



けっ

見せつけて
くれるねえ



妬けるじゃ
ねえかよ



兵長のキモチが
嬉しくて…

私のために
こんなにも
傷ついたのに

わ…
わたし…

嬉しくて

ミカサ



そろそろ
いいか…





奪われる
苦しみを



味わいな



あっ
ああ

どうだ!!

この世界は
残酷だろ!!

悪いな
リヴァイ

ハッ

この女
俺のイチモツで
イっちまったようだぜ

いってない!!

いってない!!
いってない!!



兵長っ

兵長っ!!

そうかよ

じゃあ
素直になるまで

突きまくって
やる……!!

トッセン

腰の動きで
わかったぜ

この角度が
弱いんだろ？

クク…

これでも
イってない
んだよな？

ミカサ…

ミカサ…

愛する男の
前だからって
強がっちゃって

イ…って…
ない…よお…

イって…
ない…



これなら
どうだ!!

いやあ
ああ!!

やめて!!

いやっ!!

動かないで!!

突かないでえ!!

なんでだ?

イってない
んだろ

こんなんじや

気持ちよく
ないんだろ!?

もう
だめっ!!

これ以上は
だめええ

おかしく
なるう

なら
正直に言え

素直にいったと
認めれば
許してやるぜ!?



ちやんと喋れよ
わかんねえ
だろうが!!

ほらほら早くしねえと

意識飛んじまうぞ!!

気絶したら
リヴァイを
殺っちまうぞ

うわあ
ああ
ああ
ああ

いってりゅ

いってりゅ

とってりゅ!!

ってりゅ!!



いっ

あん?



なんども
いって...

いって...いっ

だか...もう

やめへっ



はあ

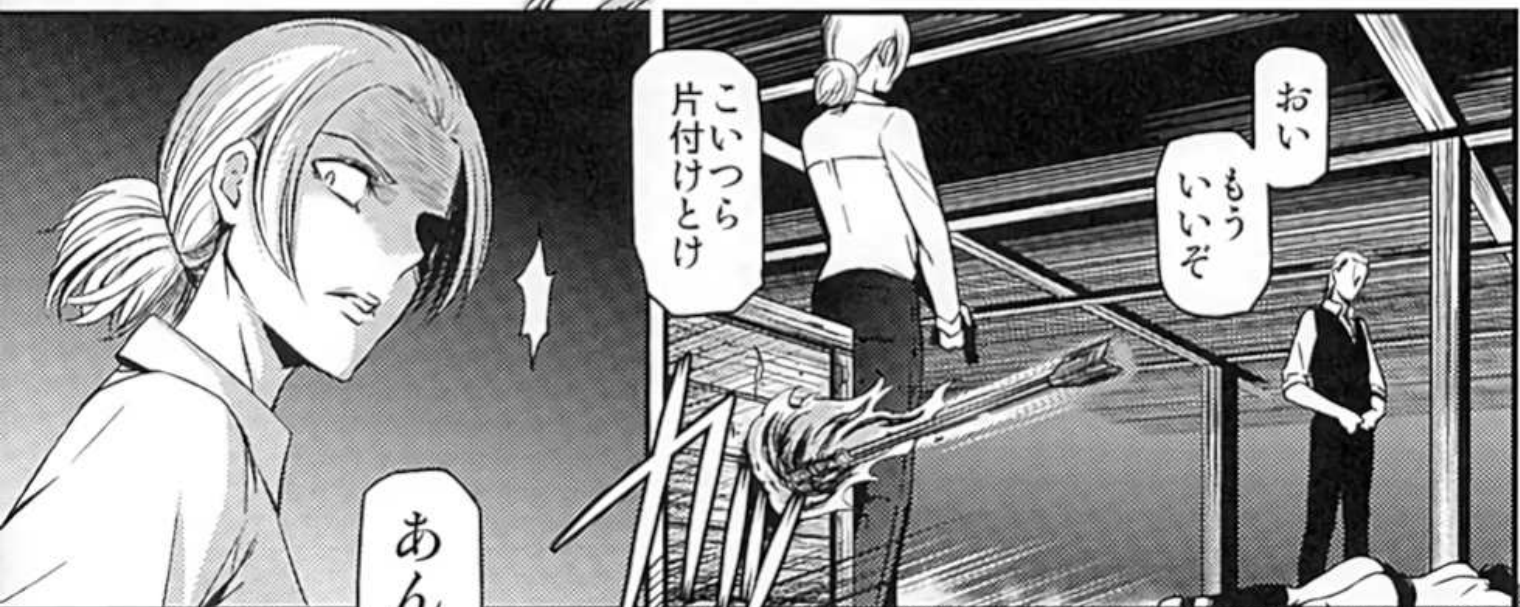
なん
だって?



あ...あ



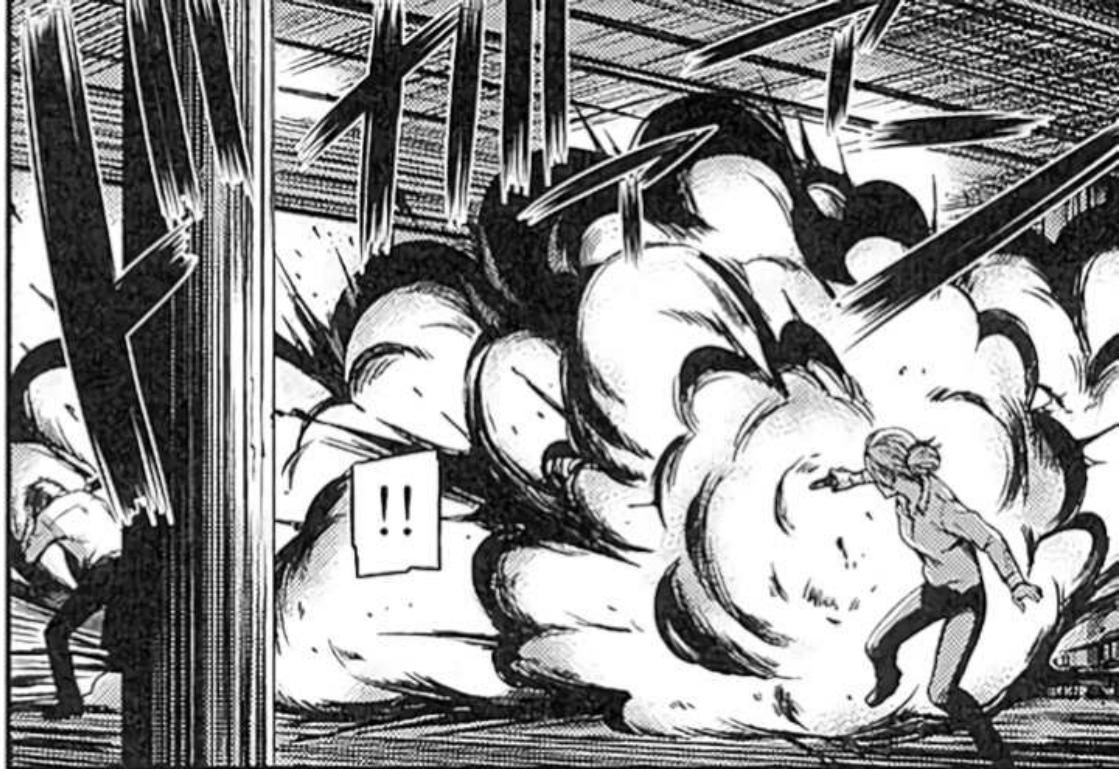
ふう…



あん？

こいつら
片付けとけ

おい
もう
いいぞ





ケニー



ちっ



どんなに醜くても
不様でもな

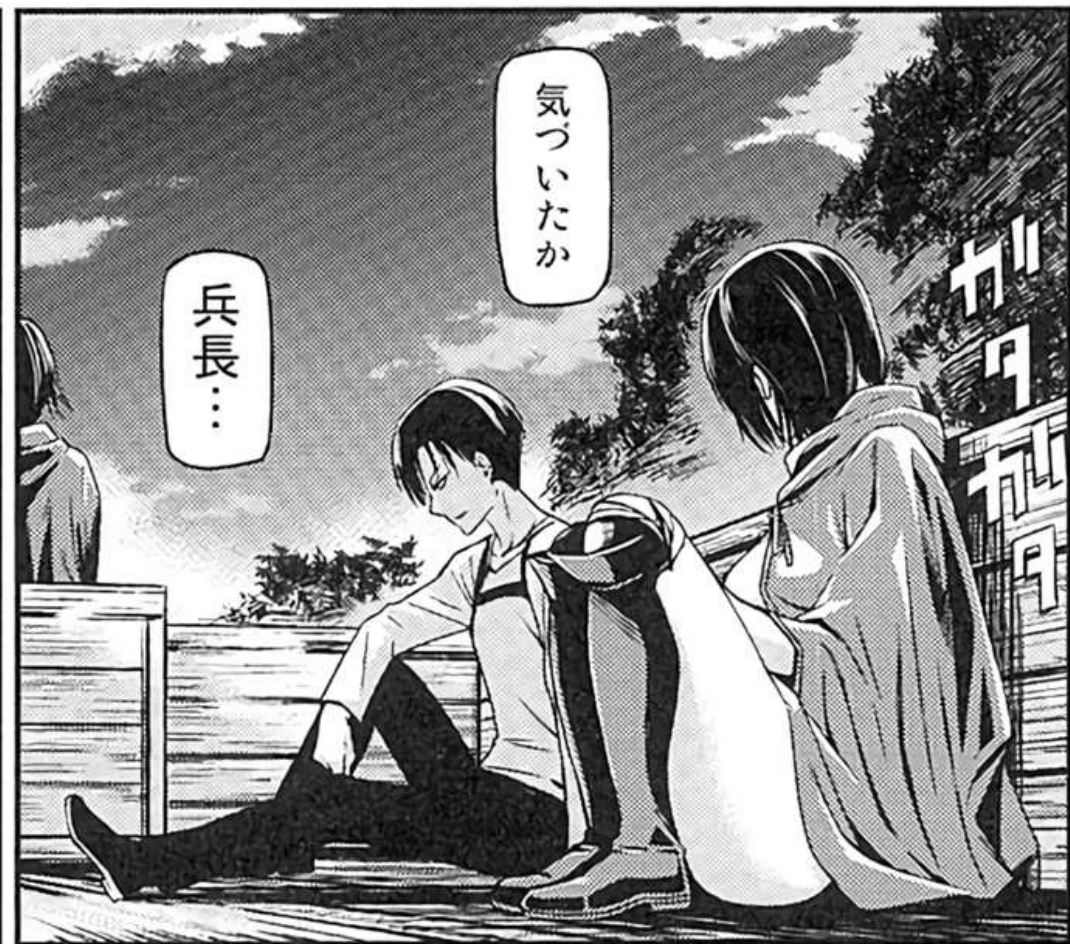
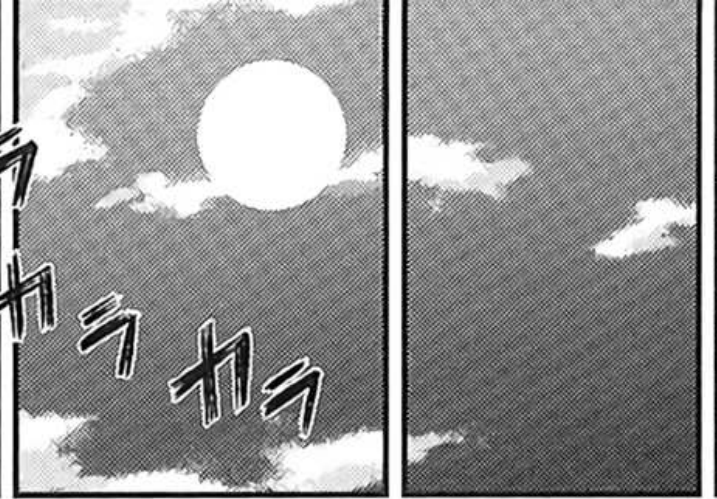


あんたの
言うことは
正しい

この世界で
俺は大切なものを
守り抜いてみせる

俺はまだ
腑抜けだった
ようだ……







全部悪い夢だ

あそこで
起こったことも
言われたことも



生きて
いるなら

それだけで
十分だ……

本誌をお手にとっていただきありがとうございました。

今まで出していた「撃針」とは違う、新しいシリーズです。
リヴァイとミカサの少し違う関係性を描いてみたく制作しました。
あと、ケニーも……

今後の展開はどうか分かりませんが
これからも宜しくお願い致します。

奥付

発行日:2015年12月31日 初版
発行:清炭ハリケーン
発行者:清炭ハリケーン
連絡先:kiyotanhari@yahoo.co.jp
印刷所:有限会社金沢印刷



はい……

